



🇵🇭 フィリピン議連活動 🇵🇭

フィリピン・マンダルヨン市長から堺市へ親書が届けられ、市長および西田議長へ議連役員の皆様とともに手交しました。

両市間の協議開始や、将来的な基本合意書（MOU）策定に向けた意見交換を行い、国際交流の具体化に向けた取組を進めています。今後、多分野にわたる実りある連携が期待されます。



公式Instagram、X（Twitter）

是非フォローお願い致します！✨



旧 Twitter



公明党

堺市議会議員
第一期

かねしろ剛の議会活動報告



市民相談件数1513件!!

ゆんたく通信



日々の生活の中で、不便に感じることや困っていることはありませんか？あなたの声が、堺をもっと住みやすい街へと変えていきます。ぜひ、あなたの思いをお聞かせください！皆様の声をお聞かせください。



お気軽にご相談ください。090-9881-0403



総務財政委員

孤独・孤立社会対策調査
特別委員

当事者性、主体性の育成について質疑！

最近、地域の現場で「自分には関係ないと思ってしまう」「関心はあるけれど、どう関わればいいのか分からない」といった声を耳にする機会が増えています。

日々の暮らしの中で、どこか社会との距離を感じている方も少なくないのではないでしょうか。

社会課題が複雑になる中で、行政だけで解決できることには限界があります。

一人ひとりが「自分ごと」として関わる力が、これまで以上に大切になっていると感じています。本来、**民主主義は対話の積み重ねの上に成り立つ**ものです。

しかし今、その土台が揺らいでいるのではないか——そんな危機感を持っています。主体性や当事者性は、大人になって突然身につくものではありません。日々の関わりの中で育まれていくものです。

子どもが困ったとき、「こうしなさい」と答えを示すのではなく、「どうしたの？」「どうしたいの？」「何か手伝えることはあるかな？」と問いかけ、寄り添う。

そうした積み重ねが、自ら考え、行動する力を育てていきます。そして、その土台をつくるためには、子どもと日々向き合う学校関係者の意識の向上も欠かせません。裏面に続く――



「ゆんたく」とは、沖縄地方の方言で「おしゃべり」や「井戸端会議」などの意味です。

こうした問題意識のもと、本市に対し、教育現場や地域の中でどのように当事者性・主体性を育んでいくのかを質疑しました。

これに対し市からは、「教育の基本的方向性」において、主体的に学び、社会と関わる力の育成を重視しているとの答弁がありました。

当事者性・主体性の育成は、まさにその根幹をなすものです。

今後は、「自分の声が届いた」「自分の行動が社会につながった」と実感できる経験を、子どもたち一人ひとりが積み重ねていけるよう、引き続き、実効性ある取り組みとなるよう、現場の声にも耳を傾けながら見守ってまいります。



安心安全のまちへ！
市民の力がカタチに
かねしろ剛公式
Instagramより



連載第2回ちょっと気になる土地の話 地籍調査ってナンなん？

なぜ地籍調査は進まない？その背景と課題

前回、堺市の地籍調査の進捗率が全国平均を大きく下回っている現状をお伝えしました。😓

では、なぜ地籍調査は全国的にも、そして堺市でも、思うように進んでこなかったのでしょうか。地籍調査が進まない背景には、時間・労力・費用がかかるという現実があります。土地の境界を一つひとつ確認し、地権者の合意を得ながら進める作業は、非常に丁寧さを要します。特に都市部では、長年にわたり境界が曖昧なまま利用されてきた土地も多く、関係者の調整が難航するケースも少なくありません😓

その代表例として挙げられるのが、六本木ヒルズの再開発です。着工にあたって、多くの地権者の土地境界が明確でなく、権利関係の整理に想定以上の時間を要しました。結果として、当初の計画より工期は3年延び、追加の調整や手続きによって多額の費用も発生しました。💸

この事例は、「地籍」が曖昧なままでは、大規模な都市開発すら円滑に進まないことを示しています。裏を返せば、事前に地籍調査が進んでいれば、防げたコストや時間があったとも言えるのです。

地籍調査は、すぐに目に見える成果が出る事業ではありません。しかし、将来の都市整備、インフラ更新、防災・減災、さらには民間投資を呼び込むための“土台”となる、極めて重要な基盤整備です。短期的な効率や優先順位だけで判断されがちですが、「いざ必要になった時に整っていない」ことの代償は、結果として大きな負担となって市民全体に跳ね返ってきます。地籍調査が進まないという課題は、単なる事務の遅れではなく、まちの将来をどう描くのか、長期的視点が問われている問題だと感じています。

今回は、地籍調査を着実に進めている自治体が、どのような工夫や考え方で取り組んできたのかを見ていきたいと思います。——つづく。